

東日本大震災の発災を踏まえた 北陸新幹線の早期全線開業に関する緊急決議

本年3月に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらし、日本の国土全体に大きな影響を及ぼした。国を挙げて復旧・復興に取り組むことが急務であるとともに、我が国の大動脈である太平洋側において将来高い確率で東海・東南海地震等の発生が予測されるなど、災害に強い国土構造の実現が喫緊の課題となっている。

このため、現行の太平洋側中心の高速交通網だけでなく、その代替補完機能を有した新たな高速交通体系の中軸を日本海側に形成し、日本海国土軸の形成を確固たるものとする必要がある。

以上のことから、緊急に次の事項の実現を強く求める。

記

- 1 北陸新幹線は、沿線地域の発展により日本経済全体の底上げに寄与するとともに、大規模災害時等における東海道新幹線の代替補完機能を発揮する重要な路線であることから、東京・大阪間の全線を早期に整備すること。
- 2 災害に強い国土構造を実現する観点から、北陸新幹線の整備促進を国家戦略の中で明確に位置づけ、整備スキームの見直し、既に認可申請されている敦賀までの早期認可、新規着工財源の留保分（90億円）の早期執行などにより、ネットワークの完結を急ぐこと。

以上、決議する。

平成23年5月31日

北陸新幹線建設促進大会